

令和6年(2024年)6月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2024年6月 数量 (トン)	2024年6月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野菜	人参	千葉県産中心の入荷でした。順調な入荷であったが全体的に若干小振りとなった。前年に比べて数量はやや減少し、平均単価は大幅に高く推移しました。	406	249	94%	156%
2		キャベツ	千葉県産・茨城県産・群馬県産が中心の入荷でした。前年は前進出荷であったが本年は平年並みに推移。数量はやや減少し平均単価については安く推移しました。	942	87	97%	84%
3		トマト	数量はかなり減少し、平均単価については高く推移しました。	301	335	79%	119%
4		レタス	長野県産中心の入荷でした。前年より出荷の時期が遅れたことにより入荷量はかなり減少し、平均単価はやや低く推移しました。	280	149	54%	95%
5		たまねぎ	香川県産・佐賀県産・和歌山県産中心の入荷でした。入荷量は減少しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	471	163	83%	163%
6	果実	もも	山梨を中心に開花が4日前後遅かったが結果としては前年並みに近いスタートとなったが小玉傾向で箱数が伸び悩んだ。入荷量はかなり減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	50	874	74%	110%
7		メロン	茨城県産が中心の入荷でした。小玉傾向で箱数も伸び悩み、その後に続く千葉県産も同様の傾向であった。数量はかなり減少、平均単価はやや高く推移しました。	287	430	77%	108%
8		桜桃	高温による軟化の多発等も重なり、主力の山形では前年の半数以下になる見込みとなった。数量は大幅に減少し、平均単価はかなり高く推移しました。	26	2,591	48%	126%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上